

MA256 I/Oモニタは、MA303(MA224)の全ポート出力端子に接続することで、全ての端子の信号を様々な形式でグラフィカルにモニタするユニットで、コストをできるだけ抑えて多くの機能を搭載した製品です。表示ユニットにLCD表示を使用して多目的な装置の利用を可能にしました。

I/Oポートの1・0情報はもちろんのこと、A/D入力電圧を計測したり、波形表示、ポートのロジックトレース表示、シリアル通信の通信状態をモニタなど、プログラムの動作評価に有効な各種の計測機能を小さなユニットにまとめました。

特に教育教材として拡張性、安全性、機能性を重視した設計となっており、書込器を内蔵した評価ボード MA224と接続することによって、教育現場等では1人1台の実験環境を整えることができます。新人教育や机上での簡単な実験、ソフト開発にも有効です。



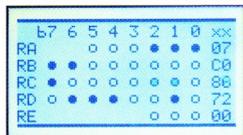
* MA303とMA256の組み合わせ

MA303, MA244の全ポートに接続、全I/Oポートを徹底モニタ



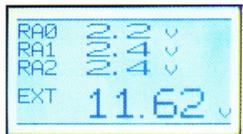
● 機能選択メニュー

- ・起動でメインメニューを表示
こちらから各機能を選択



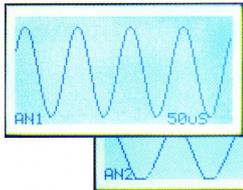
● I/Oポートモニタ

- ・MA303, MA244の装着デバイス全I/Oポートをリアルタイムに表示
- ・プログラムとI/Oの動きを捕らえることができる



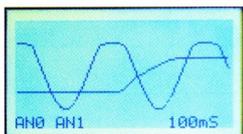
● アナログポート電圧表示

- ・ANO, 1, 2と外部入力電圧を計測して電圧表示



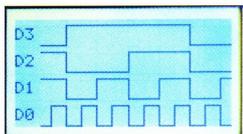
● アナログ信号波形表示

- ・アナログポートに入力される電圧の時間的な変化をオシロスコープスタイルで表示
- ・信号の状態を把握することができる



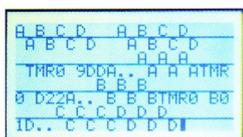
● レコーダ表示

- ・ゆっくり変化する信号をグラフィカルに表示
- ・温度変化や機械変動などを捕らえることができる



● LOGICトレース表示

- ・4chのポートの変化をロジックアナライザ的に表示
- ・ポートの動作を直感的に理解できる



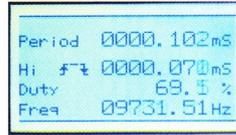
● 非同期シリアル通信モニタ

- ・シリアル通信の伝送を表示する機能
- ・ASCII・バイナリ表現で送受信の状態を把握できる



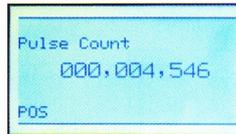
● 周波数カウンタ

- ・パルス関連ポートから連続出力されるパルスの周波数を計測して表示
- ・PWM出力やタイマ機能の動作確認



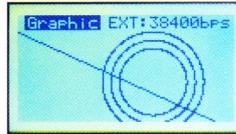
● パルス周期カウンタ

- ・ポートから出力されるパルス情報を計測して表示
- ・プログラムの動作速度の計測等に利用



● パルスカウンタ

- ・ポートに到来するパルスの数を計測する
- ・パルスモータなど出力するパルスの数を知ることができる



● グラフィックパネル

- ・128×64のグラフィック空間を利用してグラフィック処理プログラムを実験できる



● タイマとストップウォッチ

- ・ストップウォッチとタイマはプログラムの処理時間などを計測して把握するのに便利

● パネル面

- ・4つのコマンドキーとロータリエンコーダで迅速な設定切替
- ・電圧、波形観測は外部信号入力も可能

